

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2007～2010

課題番号：19520113

研究課題名(和文) 美学における基礎概念の研究

研究課題名(英文) Studies on Key-Concepts in Aesthetics

研究代表者

佐々木 健一 (SASAKI KENICHI)

日本大学・文理学部・教授

研究者番号：80011328

研究代表者の専門分野：美学藝術学

科研費の分科・細目：哲学 美学・美術史

キーワード：美学 基礎概念 日常性 商品 都市 環境 大衆性 メディア

1. 研究計画の概要

- (1) 文化状況全体の動向とともに、美学も変貌しつつあり、その基礎概念も変化している。現代における基礎概念を判断する。
- (2) 出版済みの『美学辞典』(1995)は、近代美学の基礎概念を25取り上げて、論じている。今回の計画は、新しい思潮に応ずるこの辞典の第2部を著作するという最終目的の第2段階であり、8項目前後の草稿をまとめることを目指している。

2. 研究の進捗状況

- (1) 「現代の基礎概念」をリストアップすることと、その代表的なものについての文献調査をおこない、現代的テーマに関する折々の論考のなかに、織り込むというかたちで研究を行っている。
- (2) この研究では、何が現代の基礎概念かを同定することが重要である。これについては、既刊の諸美学用語辞典を参照するほか、国際会議の際の発表題目の傾向、更には先端的な研究者の意見聴取などを行っている。
- (3) いくつかの概念に関するこれまでの研究の概略を示すことにするが、「日常性」、「商品」、「都市と環境」については、昨年度の自己評価に記した。これらについては、今年度、特に美術作品や都市、都市遺跡の見学などを通して、知識の肉付けを行った。
- (4) 「近代」についての研究は、シャルル・ペローを糸口とする。いわゆる新旧論争の最大の当事者であり、これを主題とする主著を残している。ペローの場合、古

代と近代の価値を比較し、近代の優越を主張するというスタンスだったものが、1世紀後のシラーにおいては、自意識の次元に近代の特性を見る自覚に到達する。この近代観は啓蒙主義のイデオロギーと連動し、美学的にはボードレールに受け継がれるとともに、内省的な藝術を育んできた。この潮流はアヴァンギャルドの藝術に結晶するが、その藝術と文明全体の行き詰まりから、ポストモダンの議論を呼び、近代文明への反省が展開している。

- (5) 「メディア」は、「媒体」を意味する古い単語である。媒体としての理想は、透明となって正確に内容を伝えることである。そう考えられている限り、メディアは重要な概念とはならない。近世に展開した詩画比較論は、媒体の違いが表現世界の違いを生むという事実への開眼であった。しかし、メディアがメディアとしての存在を示し始めたのは、テクノロジーと結びついた新メディア(写真、映画)、マス・メディア以降である。それはコミュニケーションの媒体、通路でありながら、伝播される内容とは異なる独自のメッセージを伝えるからである。そのことを「メディアはメッセージである」として捉えたマクルーハンが、メディアがわれわれの感覚や神経を外化することを指摘している。すなわち、メディアはわれわれの感性を変容させる。マス・メディアを超えるインターネット時代は、更に加えて表現の大衆化の現象を見せている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

この課題が、新しい現象を主たる対象とし、学界全体においても研究の蓄積のないことを思えば、まずまずの進み具合と評価できよう。取り上げるべき概念の選別もほぼ固まり、参照すべき文献もほぼ見えてきている。マイナス点は、いまだ発表形態としての(つまり辞典原稿というかたちでの)行っていないことである。

4. 今後の研究の推進方策

来年度は最終年度で、研究報告をまとめなければならない。幸い、この主題での講義を2つの大学で行うことになっており、その機会を十全に活用して、原稿の執筆を行うつもりである。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ① 佐々木健一「美のポリティックス」、『哲学雑誌』、第796号、pp.101-131. 2009、査読有り
- ② 佐々木健一「デイドロにおける美の形而上学(下の後篇)－『絵画論』第7章とその原点」、『精神科学』、第48号、24pp. (現時点では丁付け未定) . 2010、査読有り

[学会発表] (計3件)

- ① Ken-ichi Sasaki, “Philosophy in the World”, *Philosophy Rethought: Reflections on Philosophy Today in Light of the Seoul World Congress*, 2009.4.7, Conference Hall of the City of Ischia..
- ② Ken-ichi Sasaki, “Another Notion of Freedom”, *Philosophy in the Dialogue of Cultures*, The World Philosophy Day, 2009.11.17, Institute of Philosophy, Moscow,
- ③ Ken-ichi Sasaki, “The Japanese Sense of Space; the Perspective in the East and West”, 2010.2.18, Università degli Studi di Trento, Centre for Aesthetics in Practice.

[図書] (計1件)

Ken-ichi Sasaki (ed.), *Asian Aesthetics*, xviii+309pp. Kyoto University Press, 2010.

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]